

社会人経験 を活かして、
テクノインストラクターを目指す！

国家資格

職業訓練指導員 免許取得ガイド

指導員養成訓練のご案内2026



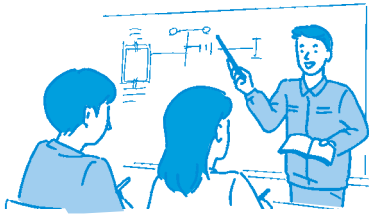
テクノインストラクター 職業訓練指導員とは

希望する仕事に就くために必要な技能や知識を習得できる、公的な制度「職業訓練（ハロートレーニング）」。国や都道府県等の施設で公務員や団体職員としてその訓練を担当するのが「職業訓練指導員（テクノインストラクター）」です。テクノインストラクターは法律（職業能力開発促進法）に基づく国家資格です。

仕事内容

こういう仕事をしています。

● 高度な技術をもった人材の育成



● 就職や技術のスキルアップの支援



● 事業主（企業）の支援



ものづくり指導のプロフェッショナルとして、仕事に必要な専門知識や技能・技術を習得・向上させる職業訓練を担っています。また、企業に対して生産性の向上や人材育成における課題解決の支援を行います。

こういう人に訓練しています。

● 仕事を探している人（求職者）

再就職に必要な知識・スキルを身に付けるための3ヶ月～1年の職業訓練。企業での実習が組み込まれているコースなど、求人ニーズに合わせたカリキュラムが特徴です。



● スキルアップしたい人（在職者）

企業等で現在働いている方向けの2～5日の短期集中型の職業訓練。仕事に必要な専門知識・技能の習得、さらなるスキルアップを目的としています。



● 学校を卒業した人（中卒者、高卒者）

これから働き始めるための基礎を身に付けるための1～2年の職業訓練。プロの技術者として社会に通用する知識・スキルの習得を目指します。



● 障害をもっている人

受講者一人ひとりのニーズに応じて計画、実施される3ヶ月～2年の職業訓練。障害の特性等に基づき、個別指導が行われ、個々人のペースで進められることが特徴です。



場所

こういう所で働いています。

国や都道府県が運営する 公共職業能力開発施設

- 独立行政法人
高齢・障害・求職者雇用支援機構
(ポリテクセンター)
- 都道府県（職業能力開発施設）

教える主な対象者

- ・ 求職者
- ・ 在職者
- ・ 中卒者、高卒者
- ・ 障害をもっている人

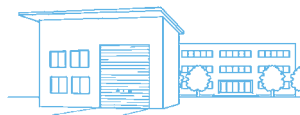


民間企業などが運営する 訓練施設

- 認定職業訓練校をもつ民間企業等

教える主な対象者

- ・ 民間企業内の社員



法 務 省

- 刑務所
- 少年刑務所
- 拘置所

教える主な対象者

- ・ 受刑者



現在のお勤め先でもテクノインストラクターの能力は役立ちます！
社内研修の企画・実施や従業員のキャリア支援など、専門性の高い教育担当者として人材育成全般を担うことができます。

あなたの「学び」や「経験」を活かし、 職業訓練指導員を目指す3コース

スキマ時間に Webで学習したい方に オススメなコース



- これまでの業務経験を活かして新たなチャレンジがしたい
- 毎日のお仕事を続けながら自分のペースで免許取得を目指したい
- お手軽な金額や短い期間で無理なく学習をスタートしたい

という方は…

実務経験者訓練技法 習得コース

じっくり腰を据えて 学習したい方に オススメなコース



- 大学で学んだ知識を活かして活躍したい
- 専門スキルも指導するための能力も時間をかけて基礎から学びたい
- 講師から指導やフィードバックを直接受けたい
- 他の受講生と協力しながら成長したい

訓練技法・技能等 習得コース

テクノインストラクター としてさらに活躍の場を 広げたい方向けのコース



- すでに職業訓練指導員免許を持っており、新たに別の分野の免許を取得したい
- テクノインストラクター業務を行っているが、職業訓練指導員免許を持っておらず取得したい

という方は…

職種転換 コース

取得できる資格

テクノインストラクター

職業訓練指導員 普通課程担当資格

普通課程(職業能力開発校にて、中・高卒者を対象に実施している職業訓練)を担当できる資格です。

免許取得までの流れ

	実務経験者訓練技法習得コース (訓練期間：3～4カ月)※	訓練技法・技能等習得コース (訓練期間：1年)	職種転換コース (訓練期間：6か月に短縮となる場合あり)
4月	Webでの受講	職業大での学科・実技	職業大での学科・実技
5月			
6月			
7月			
8月	能力審査の受検・合格 都道府県に申請することで免許取得	職業能力開発施設でのOJT実習	職業大での学科・実技
9月			
10月		都道府県に申請することで免許取得	職業大での学科・実技
11月			
12月			
1月			
2月			都道府県に申請することで免許取得
3月			

※4月開講コースを受講し、9月に能力審査を受検・合格した場合の例。

実務経験者訓練技法習得コース

実務経験を有する方や各種資格を所持する方を対象に、テクノインストラクターに必要な指導方法などの能力をe-ラーニングで受講し、能力審査(学科試験・実技試験)に合格することで職業訓練指導員免許(普通課程担当資格)を取得できるコースです。

民間企業等での実務経験を活かしたいという方や、職員・社員に職業訓練指導員免許(普通課程担当資格)を取得させたい場合にもご利用いただけます！

取得できる免許職種

●機械科 ●溶接科 ●電子科 ●電気科 ●電気工事科 ●建築科
●コンピュータ制御科 ●建設科 ●事務科 ●情報処理科ほか

留意事項

- ①能力審査に合格した科の職業訓練指導員免許を取得できます。能力審査は学科試験と実技試験の両方があります。
- ②能力審査が免除となる場合(48時間講習の受講が可能な方のうち技能検定1級もしくは単一等級合格者の方)は、上記の免許職種に限りません。
- ③能力審査の受験資格を満たさない場合、職業訓練指導員免許は取得できません。

訓練内容

■ 職業能力開発指導法

職業能力開発に関する知識を有し、若年者から高齢者まで幅広い年齢層の訓練受講者に指導することができ、PDCAサイクルによる職業訓練の運営を行うことができる能力を習得します。

■ 訓練コーディネート法

3つの科目から
1つを選んで受講!

企業(事業主、在職者)・求職者等の職業能力開発に対するニーズや技術動向の把握、訓練コースの設定及び既存コースの内容の見直し、企業の人材育成計画にかかわる助言等、要望に合った訓練コースの企画・立案ができる能力を習得します。

■ キャリアコンサルティング法

労働者が、職業経験等に応じた職業生活設計を行うため、職業選択や職業訓練等による職業能力の効率的な習得に必要な相談や支援を行うことができる能力を習得します。

※実務経験者訓練技法習得コースでは免許職種の専門分野に関する講義・実技はありません。

活用メリット

メリット1

Webコース
だから
いつでも、どこでも
受講できる!

e-ラーニングシステムを用いたWebコースであれば、訓練期間中、公開日を定めている講義以外はいつでも受講できます。また勤務先でも自宅でも受講いただけるので、通学の必要がありません。一日あたりの受講時間は、平均2〜3時間です。

メリット2

免許取得まで
最短約4ヶ月!

※能力審査が免除される
方に限ります

民間企業等で実務経験を積んだ方を採用した場合にオススメです。
能力審査が免除される方(48時間講習の受講が可能な方のうち技能検定1級もしくは単一等級合格者等)の場合は、本コースの修了証書のみで職業訓練指導員免許を申請できます。(修了証書の発行には、修了後1ヶ月程度のお時間を頂きます)

メリット3

職業大の
ノウハウが詰まった
独自教材を使用!

受講者・教員の双方向通信と、職業大が用意した教材コンテンツを用いた学習を組み合わせて実施します。
教員によるきめ細かい指導と、ノウハウが凝縮された独自教材が魅力です。

職業訓練の社会的意義や歴史から実践的な指導案の作成まで、必要な知識とスキルを体系的に学習!

訓練技法・技能等 習得コース

テクノインストラクターとして、職業能力開発施設等で
普通職業訓練の指導ができる技法・技能等を習得します。

訓練科と 取得できる職業訓練指導員免許の免許職種

訓練科	免許職種
機械指導科	機械科 (溶接科) (塑性加工科) (メカトロニクス科) (熱処理科)
電気指導科	電気科 (電気工事科) (メカトロニクス科) (発電電科) (送配電科)
電子情報指導科	電子科 (コンピュータ制御科) (情報処理科) (メカトロニクス科)
建築指導科	建築科 (建設科) (防水科) (左官・タイル科) (配管科) (木工科)

※()内の免許職種は、学校教育法による大学において、当該免許職種に
関する科目を修めて卒業した場合に取得できます。

職種転換コース

職業訓練指導員免許をお持ちの方が、必要な専門知識・
技能を習得することにより、新たにまたは追加して免許を
取得できるコースです。

訓練科

- ・ 機械科
- ・ メカトロニクス科
- ・ コンピュータ制御科
- ・ 構造物鉄工科
- ・ 塑性加工科
- ・ 溶接科
- ・ 電気科
- ・ 電気工事科
- ・ 電子科
- ・ 建築科
- ・ 木工科
- ・ 配管科
- ・ 情報処理科
- ・ 塗装科
- ・ デザイン科

※訓練科名が取得できる指導員免許の免許職種です。

※応募状況等により開講しないことがあります。

※職業訓練指導員免許をお持ちの方は、これまでに訓練科に関連する学科の
履修や実務経験がない場合でも、受講及び免許取得が可能です。

訓練内容

【4～6月】 職業能力開発総合大学校で、以下の3つの能力を習得します。

1 職業能力開発指導力

職業能力開発に対する基本理念や、適切で効果的な訓練を実施するための訓練・授業の指導計画について習得します。

2 訓練コーディネータ力

企業が実施している人材育成計画に助言ができ、適切な訓練コースを提案できる力を習得します。

3 キャリア・コンサルティング力

相談者が抱える課題の把握や適切な支援方法について習得します。

【7～9月】 OJT実習※で指導計画や企業への訪問、相談者への支援方法を学び、実践的な知識・技術等を習得します。
OJT実習の具体的な時期・実施方法については、入校後にお知らせします。

※OJT実習：ポリテクセンター等の職業能力開発施設にて実際に職業訓練の指導方法を学ぶ授業のこと

【10～3月】 職業能力開発総合大学校で各分野における高度な知識と技術力、実践力を身に付けます。

※職種転換コースではOJT実習を実施しない場合がございます。

また、お持ちの職業訓練指導員免許の免許職種等に応じて、訓練期間が10～3月のみに短縮となる場合がございます。

コースのポイント

○学生時代の学びを活かせる!

卒業した大学で免許職種に関連する学科を修めていれば受講できる
コースです。大学を卒業したばかりの方から、社会に出たけれど学び
直したいという方まで、培ってきた知識をそのまま活かして免許取得
が可能です。

○1年間の対面講義で着実にステップアップ!

専門分野の知識・技能・技術と、指導法などの職業能力開発にお
ける学識の両方を習得できます。対面講義のため疑問や不安を払
拭しやすく、またOJT実習は現場で経験を積むことができるため実
践力が身につきます。

もっと知りたい! テクノインストラクター

「単なる「技術の先生」ではない?」

テクノインストラクターの核となる仕事は職業訓練ですが、それは単
なる技術指導に留まりません。訓練の企画段階では、企業の抱える
人材育成や雇用における課題やニーズをもとに内容を設定します。
企画した訓練を実施すると同時に、未来を見据えたキャリアコン
サルティングや就労支援を受講者に対して行います。そして
スキルアップした受講者を、課題を抱える企業に紹介するのです。つ
まりテクノインストラクターとは、受講者に技能・技術を授ける
「ものづくり」と一人ひとりの人生に寄り添う「ひとづくり」を通じて、
地域や社会全体の発展を支える、多面的な役割を担う職業なのです。



3つのコースの受講対象者・授業料等・出願期間

実務経験者訓練技法習得コース

- 職業訓練指導員試験を受験することができる方
- 48時間講習を受講することができる方
(技能検定の1級・単一等級を所持する者に限る)
- 職業訓練において訓練を担当している方やこれから担当しようとする方

受験手数料 なし
授業料 46,800円(税込)

能力審査の検定料
20,790円(税込)

詳しい受講要件
募集要項はコチラ!



開講時期 / 出願期間

4月 令和8年1月5日(月)～2月6日(金) 10月 令和8年7月3日(金)～8月4日(火)
6月 令和8年3月19日(木)～4月17日(金) 12月 令和8年9月16日(水)～10月16日(金)
8月 令和8年4月27日(月)～5月29日(金)

・訓練期間はそれぞれ約3～4ヶ月です。どの回を受講した場合も授業料等は同じです。

受講を希望される方は、出願の1ヶ月前までに下記の問い合わせ先まで必ずご相談ください。

訓練技法・技能等習得コース

- 学校教育法による大学(短期大学を除く)において免許職種に関連する学科を修めて卒業した方

出願期間 令和7年12月1日(月)～8日(月)

受験手数料 22,500円(非課税)
授業料 535,800円(年間/非課税)

詳しい受講要件
募集要項はコチラ!



職種転換コース

- 職業訓練指導員免許を所持している方
- 職業訓練指導員業務に1年以上の実務経験を有する方

出願期間 令和8年2月9日(月)～2月16日(月)

受験手数料
年間: 22,500円(非課税)
6ヶ月: 23,600円(税込)
授業料
年間: 535,800円(非課税)
6ヶ月: 280,700円(税込)

詳しい受講要件
募集要項はコチラ!



受講を希望される方は
令和7年10月31日までに下記の問い合わせ先まで必ずご相談ください。

修了者の声

実務経験者訓練技法習得コース



決められた期間で課題へ取り組む必要はありませんが、基本的には自分のペースで学ぶことができます。私は朝の出勤前の時間や休日にe-ラーニングの受講を進めました。

講義にはボリュームがありましたが、わかりやすいテキストと動画教材で飽きずに続けられ、不安なく一人で学習することができました。

溶接工として後輩の育成をしている中で、人に教える喜びを感じテクノインストラクターを志しました。培ってきた技術がそのまま活かせる点はセカンドキャリアとして魅力に思います。

訓練技法・技能等習得コース



実習では指導案の作成から模擬訓練までテクノインストラクターの業務を一貫して学びます。

自分の中では理解している技術や知識も人に教えるとなると難しく思えるものですが、現場と同じ環境で体験していくうち、そうした不安を払拭することができました。

受講を経て身に付けたテクノインストラクターとしての基礎はそのまま日々の訓練業務に活かせるものです。

今でも訓練を行う際には、コース内で用いた教材やノートを実習場に持ち込み見返しています。

職種転換コース



AIやITの進化など、時代の変化とともに求められる職業訓練も変わります。このコースの受講を通じて、教える立場でありながら新たに学ぶ必要があり、成長し続けられることがテクノインストラクターの醍醐味だと感じました。

テクノインストラクターは「昨日できなかったことができるようになる瞬間に立ち会える」職業です。人の成長を一番近くで見守り、いっしょに喜ぶことができます。

誰かのために働きたい方は、ぜひチャレンジしてみてください。

お問い合わせ先

職業能力開発総合大学校 学生部学生課

〒187-0035 東京都小平市小川西町2-32-1 TEL:042-346-7127

E-mail: 実務経験者訓練技法習得コース ptu05@jeed.go.jp (05は数字です)

その他のコース

gakusei@jeed.go.jp